



産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 19 日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 茨城県鹿嶋市大字光 4 番地

氏 名 中央電気工業株式会社

代表取締役 平田 敦嗣

電話番号 0299-84-3400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中央電気工業株式会社
事業場の所在地	茨城県鹿嶋市大字光 4 番地
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	8816 一般廃棄物処理業（ごみ処分業に限る） 8822 産業廃棄物処分業 8824 特別管理産業廃棄物処分業
② 事業の規模	4,275,122千円
③ 従業員数	141人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 → 中間処理業者に委託し、固形化 廃プラスチック類 → 中間処理業者に委託し、破砕又は焼却処理 がれき類 → 中間処理業者に委託し、破砕処理 木くず → 中間処理業者に委託し、破砕処理 廃油 → 中間処理業者に委託し、焼却処理 ガラス、陶磁器屑 → 中間処理業者に委託し、焙焼処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

```
graph TD; A[特別管理産業廃棄物管理責任者] --> B[処理管理担当者]; A --> C[マニフェスト管理担当者]; B --> D[・適正な委託処理確認]; C --> E[・マニフェストの交付等処理管理];
```

特別管理産業廃棄物管理責任者

処理管理担当者

- ・適正な委託処理確認

マニフェスト管理担当者

- ・マニフェストの交付等処理管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		※別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の分別徹底 ・ 生産工程のロス削減や有価物化を推進 		
② 計画	【目標】		※別紙のとおり
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の分別徹底 ・ 生産工程のロス削減や有価物化を推進 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保管場所を指定して、他の廃棄物の混入防止 ・混合廃棄物の分別を促進
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保管場所を指定して、他の廃棄物の混入防止 ・混合廃棄物の分別を促進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】 ※別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 優良認定処理業者、再生利用業者へ優先的に委託		

② 計画	【目標】 ※別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全 処 理 委 託 量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も優良認定処理業者、再生利用処理業者へ優先的に委託を推進する	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】

産業廃棄物の抑制に関する事項

廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	がれき類	木くず	廃油	ガラス・陶磁器類	合計
現状（前年度実績）	901t	125t	3t	9t	2t	223t	1,263t
計画（目標）	810t	110t	80t	6t	1t	1t	1,008t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

廃棄物の種類		汚泥	廃プラスチック類	がれき類	木くず	廃油	ガラス・陶磁器類	合計
現 状（前年度実績）	全量処理委託量	901t	125t	3t	9t	2t	223t	1,263t
	優良認定処理業者への処理委託量	901t	15t		9t	2t	0.1t	927.1t
	再生利用業者への処理委託量	901t	89t	3t	9t	2t	223t	1,227t
	認定熱回収業者への処理委託量		36t					36t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う事業者への処理委託量							
計 画（目標）	全量処理委託量	810t	110t	80t	6t	1t	1t	1,008t
	優良認定処理業者への処理委託量	810t	24t		6t	1t	1t	842t
	再生利用業者への処理委託量	810t	86t	80t	6t	1t	1t	984t
	認定熱回収業者への処理委託量		24t					24t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う事業者への処理委託量							